

追悼のことば

本日ここに、川口市長様、市議会議長様をはじめ、ご来賓の皆様並びに多くの市民の皆様にご参列いただき、川口市戦没者追悼式が、かくも盛大に執り行われますことは、戦没者の遺族にとって大変嬉しく、心から感謝申し上げます。戦没者遺族を代表し、謹んで追悼のことばを申し上げます。

あの悲惨きわまる大戦が終わりを告げてから、七十九年もの歳月が経ちましたが、故郷を思い、愛する家族を案じつつ戦場に倒れ、あるいは心ならずも戦乱の犠牲となられた皆様の痛ましい最期を思う時、忘れることの出来ない深い悲しみが胸に迫ってまいります。

御英霊の皆様が案じられました祖国は、平和と自由を愛する民主国家として、繁栄の道を着実に歩みつづけております。現在、私たちが当たり前のように享受している平和と繁栄は、過ぎし大戦においてかけがえのない命を落とされた方々の、重く尊い犠牲の上に築かれたものであることをひとときも忘れることはありません。

近年の世界情勢を見ると、ロシアによるウクライナ侵攻が始まってから二年半が経ち、又イスラエルとパレスチナのガザ地区を支配するハマスの戦闘が始まってからまもなく一年が経とうとしておりますが、どちらも終わりは見え、今この瞬間も尊い命が失われております。これらの現実には到底許されるものではありません。世界の平和に貢献するという私たちの使命を

改めて痛感いたしております。

本日の式典に臨み、悲しみの歴史を繰り返さないことを新たにし、戦争の史実と教訓を風化させることなく子々孫々にわたる正しく継承し、平和で希望に満ちた社会の増進に一層努力を重ねますことをお誓い致します。

終わりに、御霊の安らかならんことを心よりお祈り申し上げます、この式典のためにご尽力いただきました方々に御礼申し上げますとともに、ご参列の皆様のご多幸と、ご健勝を心から祈念申し上げますと追悼のことばといたします。

令和六年十月五日

川口市遺族会会長 片野誠治